

ふじ ねら
藤原 みゆきさん (48歳)

営農地: 京都郡 苅田町
主な農産物: 酪農、
水稲 (飼料米含む)



おいしい牛乳をつくるのが使命

● 就農のきっかけ

子供の手が離れ本格就農

地元酪農業協同組合で働いていた藤原さん。「もともと実家が酪農業を営んでいたため、酪農は生活の一部と言えるほど身近な職業でした。結婚してから子供が幼い頃は、夫と義母が主に仕事をしていたので、忙しいときだけ手伝っていました。手伝いとはいえ、幼い頃から主な作業は身近で見えてきたので、十分な戦力として作業をしていました。一番下の子供が小学校に入学するのをきっかけに、本格的に作業を行うようになりました。自分が酪農家として働くことはごく自然で、毎日夫に搾乳や餌やりなどを教えてもらいながら10年の日々が過ぎました。」と本格就農から10年を語っていただきました。

● 私の今～就農後の道のり～

“農業”で地域貢献

「それから10年、ほぼ毎日夫と2人で酪農と稲作の作業に取り組んでいます。酪農は毎日の作業で休みはありませんが、牛の餌になるおからや牛舎の下にひくおがくずをとり外に出かけます。夫も一緒なので、その途中で昼食を食べたりお買い物をしたりと自分たちのリフレッシュもかねることが出来ます。稲作との複合経営ですので、田植えや収穫時の忙しさは本当に大変ですが、メリハリのある生活に充実感を覚えています。

地域の農業女性と一緒に大型特殊免許を取得したことをきっかけに、平成14年に8名で女性農業機械オペレーターグループ「グリーンズ」を結成しました。グリーンズの活動は、休耕田の活用、農作業受託で、このほかにはエダマメ収穫体験など食育活動にも取り組み、地域農業のPRと活性化に貢献してきました。この活動は、女性が主体となって農業を担うモデルとして平成19年度に福岡県男女共同参画団体賞をいただきました。」

藤原さんは、自分の経営と地域農業への貢献の両輪で、今日まで忙しい毎日を送ってきましたが農業は女性の力を十分発揮できる職業だと実感されているようです。

● これからの夢、目標

夫婦で仲良くいつまでも酪農を

「牛がかわいい」、藤原さんは一番に話してくれました。牛は乳牛として5～6年もの間牛舎に在ることになります。一頭ずつ性格も違いますし、乳質や乳量によって餌を変えていくなど決め細やかなお世話が必要です。「おいしい牛乳」を提供するために快適な環境を整える、暑さ対策を万全にするなど、ものを言わない動物の気持ちを察しながら、小さな気遣いを積み重ねる毎日を過ごす藤原さん。「1リットルの牛乳にいろんな想いが詰まっていると思って、味わっていただければうれしいです。いつまでもおいしい牛乳が提供できるよう、夫婦で頑張りたいと思っています。」



プロフィール

- 家族構成 / 本人、夫、義母、子3人
- 営農年数 / 約10年
- 耕作(経営)面積 / 経産牛10頭、育成牛1頭、4ha
- 販路 / ニシラク乳業(株)

就農を考えている女性へ ♥

朝早くから夜遅くまで毎日の仕事ではありますが、時間をうまく使って自分のやりたいこともできるし、ヘルパーを雇うことで月に1回は休みが取れるし、年に2～3回は1泊旅行にも出かけています。夫と一緒に仲良く農作業ができることも魅力のひとつですね。